

## 法政国際高校 1 年 2nd Test (2024.07)

### ～ 概要～

試験時間	50分		
	設問概要		
	形式	基本(テキスト内) / 応用	時間配分予想
[I]	長文読解 (マークシート)	基本	15分
[II]	空欄補充 (短答式)	基本	3分
[III]	空欄補充 (マークシート)	基本	2分
[IV]	英文の間違い探し	基本	2分
[V]	整序英作文	基本	5分
[VI]	長文読解 (マークシート)	応用	10分
[VII]	空欄補充 (マークシート)	基本	3分
[VIII]	空欄補充 (短答式)	基本	3分

### ～ [I] 長文読解 (マークシート) ～

#### ✓ 形式

：実在する人物とその人が行ったことについての文章。

- (1): 文章中の空欄を埋める単語を問う短答式の問題。単語についての意味と頭文字が提供される。
- (2): 本文に出てくる単語の定義を選択肢から選ぶ。
- (3): 本文に関する質問 (英語) に合う選択肢を選ぶ。単語が何を指しているのかを選ぶ。
- (4): 本文に出てくる単語と同じ発音の単語を選択肢から選ぶ。
- (5): 本文に関する質問 (英語) に合う選択肢を選ぶ。単語が何を指しているのかを選ぶ。
- (6): 文章中の空欄を埋める単語を問う選択式の問題
- (7): 本文に関する質問 (英語) に合う選択肢を選ぶ。単語が何を指しているのかを選ぶ。
- (8): 単語のアクセントが最も強い部分を選ぶ。
- (9): 本文に関する質問 (英語) に合う選択肢を選ぶ。
- (10): 本文に関する質問 (英語) に合う選択肢を選ぶ。
- (11): 5つの英文がそれぞれ T/F かを選び、答えを満たしている選択肢を選ぶ。
- (12): 6つの英文を正しい順番に並べ替え、答えを満たしている選択肢を選ぶ。

✓ **問題数**

：それぞれ1問ずつ、計12問。

✓ **配点**

：(1)~(8)は各1点、(9)~(12)は各2点。計16点。

✓ **ポイント**

：文章中の単語が何を指しているのかを理解する必要がある。それに加えて、発音や定義に関する問題も2問出ているので語彙力の強化も重要になる。

～ [II] 空欄補充（短答式）～

✓ **形式**

：文章中の空所や日本語訳に相応しい選択肢を選ぶ問題。

日本語訳を基に英会話文の空所を補う。

主に完了形についての内容。現在だけでなく、未来・過去の表現もある。

✓ **問題数**

：4問

✓ **配点**

：各2点。計8点。

✓ **ポイント**

：短答式なので単語のスペルミスには気を付けたい。完了形において have が had に変化する場合（過去完了形）もあるため、文中の”yesterday”などの時制をあらわす単語に注意すべき。

会話形式で日本語訳もあるため、すべてを読もうとすると時間がかかってしまう。空欄に埋めるべき内容＝日本語で該当する箇所を最初に確認し、**主語→動詞→時制**を、必ず順に確認する。

～ [Ⅲ]空欄補充（マークシート）～

✓ **形式**

：会話文中にある空欄にあてはまる単語を4つの選択肢の中から選ぶ。

✓ **問題数**

：5問。

✓ **配点**

：各1点。計5点。

✓ **ポイント**

：この問題の選択肢も**時制**についての問題が多く、選択肢の動詞は全て同じ。そのため、Ⅱの設問と同じように時制を表す単語を基に答えを導き出す必要がある。

すべての英文は、主語→動詞→時制の順に確認することでミスを減らすことができる。

～ [Ⅳ]英文の間違い探し～

✓ **形式**

：間違いが一か所ずつふくまれている英文が3つあり、それぞれの文の4つの箇所に下線が引かれている。その中から間違いを選ぶ。

✓ **問題数**

：3問。

✓ **配点**

：各1点。計3点。

✓ **ポイント**

：時制が一致していないところを見抜く問題であるので特に when の後や yesterday, 動詞の形に注目することで正答率を上げることができる。

## ～ [V] 整序英作文～

✓ **形式**

: 英単語を並べ替え、AとBの箇所に当てはまる組み合わせを答える。

✓ **問題数**

: 2問。

✓ **配点**

: 各2点。計4点。

✓ **ポイント**

: “for thirty years”など期間を表す単語が入っていてそれらを文中のどこに入れるかを知っておく必要がある。また、関係代名詞の”which”などもあるのでそれらが全て同じ分に出てくるときの形を整理しておく。

## ～ [VI] 長文読解 (マークシート) ～

✓ **形式**

: 実際の出来事についての長文読解。

(1)~(2): 本文に関する質問(英語)に合う選択肢を選ぶ。単語が何を指しているのかを選ぶ。

(3): 本文に関する質問(英語)に合う選択肢を選ぶ。

(4): 空欄に入る文を選択肢から選ぶ。

(5): 4つの英文がそれぞれT/Fかを選び、答えを満たしている選択肢を選ぶ。

✓ **問題数**

: 5問

✓ **配点**

: 各2点。計10点。

✓ **ポイント**

: 中国のパンダの名前など固有名詞が出てきているがそれらに気を取られすぎずに如何に内容に集中できるかがカギ。いくつかの単語の意味などが最後に記載されているのでそれらを活用して読む事で内容をより深く理解することができる。

～ [VII] 空欄補充（マークシート）～

**形式**

：短文の空欄に入る語を語群の中から選ぶ問題。

✓ **問題数**

：7問

✓ **配点**

：各1点。計7点。

✓ **ポイント**

：形容詞が多く選択肢に出ているので、単語力をつけたい。また、選択肢には入っていないが、onなどの前置詞などが空欄の後にあり、それらからも選択肢を狭めて考えることができるので、単語と前置詞の関係も知っておくべき。

～ [VIII] 空欄補充（短答式）～

**形式**

：短文中の空所に相応しい英単語を書く問題。日本語訳あり。

空所に頭文字がある場合にはその文字から始まる単語で答える。

✓ **問題数**

：7問

✓ **配点**

：各1点。計7点。

✓ **ポイント**

：動詞、名詞、形容詞などさまざまな品詞の単語が出ているため、幅広くカバーしておく必要がある。また、スペルミスにも注意。

## ～ 総評～

### ✓ 対策ポイント

：短答式の問題に出てくる単語は形容詞、名詞などが多いが幅広く他の品詞もカバーして置く必要がある。長文読解も複数あるため、内容の理解とこの単語が何を指しているのか（特に”This”や”do so”など）をクリアにするべき。

### ✓ 傾向と対策

：春のテストに比べて発音や定義など単語についてももう少し多角的な角度から学ぶ必要がある。単語を覚えるときに声に出したり、先生にきいたりするなど生きた英語に触れることで対策をすることができる。また、現在完了形について問う問題も多く出ているため、夏のテストを受ける際には完璧にしておきたい。

#### ⇒インターTOMAS では

個別指導でも**スラッシュリーディング指導を行うことで、速読力・速聴力**を磨きます。

試験時間が短い、足りないと感じる場合には、このトレーニングが有効です！

：日頃から授業内容の復習はもちろんのこと、反復的な音読を通じて、英文の定型化を図ることが重要となる。

#### ⇒インターTOMAS では

**いろいろな英文に触れることができる、受け放題の加圧式音読グループレッスンが効果的です。**

英語長文を安定してなめらかに読み切る**読解力**が身に付きます。